

事業研究委員会

一 研究テーマ

働き方改革・校務負担軽減につながる事例についての調査や実践を行い、研究の成果を発信することで、教育会活動（研修等）に対する自主性・主体性の向上を図り、よりよい教育会活動体制について検討する。

二 テーマ設定の理由

本委員会では、継続研究として「働き方改革」を研究テーマに据えて取り組んできた。昨年度は「自動採点システム」「ルビふり用のアプリケーションソフト」が働き方改革につながることを発信した。そして、依然として学校現場は忙しい状況であることには変わらないが、以前よりは改善している面もあるのではないだろうか。そこで、今年度は「先生方の教育会活動（研修等）に対する自主性、主体性の向上を図る」ためにはどのような課題があるのか、またどのような改善策が考えられるかを調査・分析したいと考え、本研究テーマを設定した。

三 研究の経過

（１）調査活動の検討（５～６月）

- ・教育会活動（研修等）に対する自主性、主体性の向上を図るための課題について

（２）調査活動の準備（７～９月）

- ・教育会研修に関するアンケート内容と実施方法の検討

（３）調査活動（１０月）

- ・教育会研修に関するアンケートの実施

（４）分析（１０～１２月）

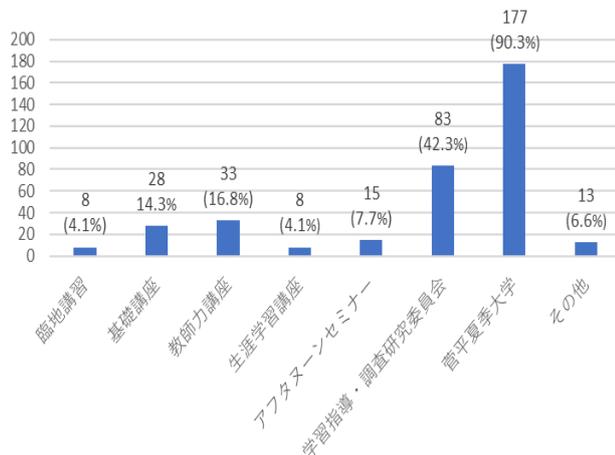
- ・教育会研修に関するアンケートの集約と分析

（５）発信

- ・研究のまとめによる研究成果の発信
- ・リーフレットの作成

四 研究の内容

Ⅰ 参加したことがある教育会研修について

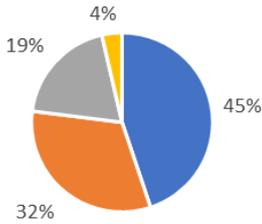


考察

「菅平夏季大学」「学習指導委員会・調査研究委員会」は、勤務時間内の研修であり、さらに児童、生徒が学校にいない日時に計画されている研修である。そして、菅平夏季大学は講座内容も多岐にわたっている。また、参加への呼びかけがある。そのため、参加者が多いと考えられる。

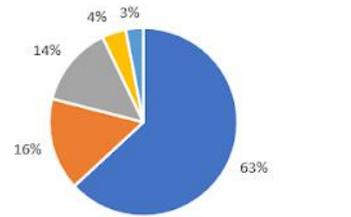
臨地講習、生涯学習講座、アフタヌーンセミナーなどは、先生方への周知をさらにすることにより、参加者増えるとも考えられる。

2 各種研修の参加についての気持ち



- 参加したい気持ちがあり参加している
- 参加したい気持ちはあるが参加することが難しい
- 参加したいと思わない
- その他

3 研修参加の気持ちを高めるための改善点



- 研修時間の確保
- 研修方法の工夫
- 研修内容の工夫
- 教育会研修の周知
- その他

考察

「参加したい気持ちがあり参加している」の約45%に対して、「参加したい気持ちはあるが、参加することが難しい」と「参加したいと思わない」で約55%となっている。

そして、「参加したいと思わない」と考えている方の理由は、大きく次の4つに分けることができる。

(1) 働き方改革を課題とするもの

「時間の余裕がなく、負担に感じているから」

「日々の学校での実務で精一杯で学ぶ余裕がない」 など

→改善案

昨年度の事業研究委員会では、自動採点システム、ルビふりなどを、勤務の効率化の一例として示すことができたが、今後は先生方がどのように仕事の効率化を図っているかを共有することで、さらに勤務の効率化につながることも考えられる。例えば、提出物をバーコードで読み取って集計する方法もある。このような工夫が広がることにより、大きな効率化につながることもありそうである。先生方が普段やっていることの中に工夫がある。また、オンラインを使用することができることは、極力Meetを使用したり、学校の日課を工夫したりすることも考えられる。

(2) 研修内容を課題とするもの

「必要性を感じる内容ではない」

「自分のニーズに合った研修が、なかなか無い」 など

→改善案

教育会の研修は、教科指導や生徒指導など多岐にわたっての講座が実施されている。先生方が、実はご自分の興味がある研修に気づいていない可能性もある。そのため、講座の紹介や講座のスケジュールを分かりやすい方法で示して周知をしていくことが、研修意欲の向上につながる面もあると考えられる。

(3) 研修で学校を離れることによる不安によるもの

「学校を離れるのが不安だから」

→改善案

補充計画などを立て、他の先生に授業をお願いして学校を離れることは、心理的にも大変である。お互いが気を遣って研修に参加できないということがないように、お互いの補充体制などを工夫している学校がある。工夫を共有することで、研修意欲の向上につながる面もあると考えられる。

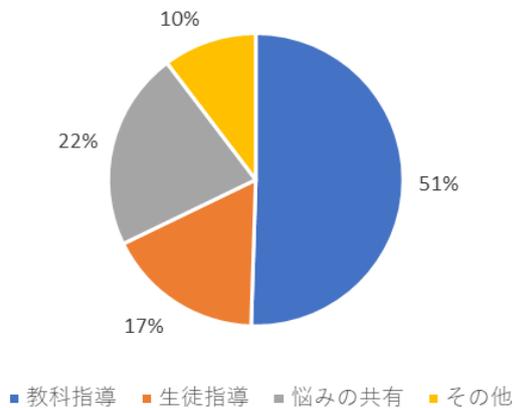
(4) 教育会体制に関係するもの

「教育会そのものがどういう組織なのかはまいちわかっていない」

→改善案

教育会に対する理解が高まると、研修意欲の向上につながる面があると考えられる。

4 必要と感じている研修



教科指導、生徒指導等に関係する研修を特に必要としている先生方が多い。しかし、そのような研修の機会は、教育会の講座にも数多くある。そのため、先生方がご自分の興味がある研修に気づいていない可能性もある。また、悩みの共有をしたいという先生方も多くいることと、「一見、教育とは無関係に思えるような内容。例えばビジネス基礎や簡単な英会話、中国語などの言語学習、テーブルマナーや接遇、株など」「直接、教科や生徒指導に関係するのではなく、

ホッとできたり笑えたりするような内容でも良いように思います」「サークル活動的な、趣味の領域の集まりだったら行くかも(バドミントン同好会とか、合気道とか、化石発掘とか)」という研修を望んでいるご意見もあることから、そのような研修を実施することで、自然と悩みの共有などができることもあるように考えられる。

五 研究のまとめと課題

今年度は、先生方に「教育会研修に関するアンケート」にご協力をいただいたことにより、「先生方の教育会活動(研修等)に対する自主性、主体性の向上を図る」ためにはどのような課題があるのか、またどのような改善策が考えられるかを調査・分析することができた。

分析結果については「四 研究の内容」の通りであるが、先生方が研修に参加しにくい状況にあることが何よりの課題である(「参加したい気持ちはあるが、参加することが難しい」と「参加したいと思わない」で約55%)。しかし、「働き方改革」で時間的ゆとりができれば、先生方の研修への自主性、主体性の向上につながるのであろうか。今回のアンケートで記載いただいた先生方のご意見を今後も大切に扱うことにより、先生方の研修への自主性、主体性の向上につなげていきたと思う。

そこで、事業研究委員会としては、以下を提案することで、先生方が自主的、主体的に研修に参加できる一助となればと考え、今年度の研究のまとめとする。

(1) 教育会研修一覧表の作成

- ・教育会研修を周知し、研修への計画的参加が可能になる。

(2) リクエスト研修

- ・事業研究委員会で、アンケートで先生方が興味のある講座を調査し、研修を実施する。